

議題等 1 令和 4 年度医療安全研修会について（報告）

議題等 1 令和 4 年度医療安全研修会について （報告）

議題等 1 令和 4 年度医療安全研修会について（報告）

船橋市医療安全支援センターの業務

船橋市医療安全支援センター設置要綱（以下「設置要綱」という。）第 3 条にて以下のとおり規定している

- （1）患者・住民からの苦情や相談への対応
- （2）医療安全推進協議会の開催
- （3）患者・住民からの相談等に適切に対応するために行う、関係する機関・団体等との連絡調整
- （4）医療安全の確保に関する必要な情報の収集及び提供
- （5）市内医療機関の管理者等に対する医療の安全に関する研修の実施**
- （6）研修会の受講等によるセンターの職員の資質の向上
- （7）医療安全の確保に関する必要な相談事例の収集、分析及び情報提供
- （8）千葉県医療安全相談センターとの連絡調整
- （9）医療安全施策の普及・啓発（医療提供施設等に関する情報提供や助言・研修、患者・住民に対する医療安全に係る啓発等を含む。）

議題等 1 令和 4 年度医療安全研修会について（報告）

概要

- ▶ 開催日：令和 4 年 1 月 13 日（日）
- ▶ 場所：船橋市中央公民館
- ▶ 講演：演題 患者・市民とつくる医療安全
 講師 勝村 久司 氏
 （医療情報の公開・開示を求める市民の会 代表世話人）
 （産科医療補償制度「再発防止委員会」委員）
 （厚生労働省「薬害を学び再発を防止するための教育に関する検討会」委員）
 （全国薬害被害者団体連絡協議会 副代表世話人）
 （元厚生労働省「中央社会保険医療協議会」委員）
 （元厚生労働省「医療安全対策検討WG」委員）
- ▶ 参加者 76 名

3

議題等 1 令和 4 年度医療安全研修会について（報告）

概要

▶ 内容：

1990年に大阪府内の市民病院で出生されたご長女を亡くされ、市を提訴。裁判の過程でカルテの改ざんや不必要な陣痛促進剤の投与などが判明し、二審で逆転勝訴された。ご自身の経験をきっかけとして、患者と医療提供者の両者が納得のいく医療の提供の実現に向けて今もご尽力されている。今回の研修会では、経験談を交え、事例紹介やご自身が取り組んできたことをわかりやすく講演された。



4

議題等 1 令和 4 年度医療安全研修会について（報告）

アンケート結果 今後の研修会に望むこと

- ▶ 普段の診療を行っている、どうしても患者の立場を忘れがちになるため今回のような研修会を開催してほしい。
- ▶ 精神科関連の医療安全研修もあるとよい。
- ▶ 調剤薬局の投薬事故も扱ってほしい。
- ▶ DNARに関する研修を受けてみたい(基本的な考え方、説明の仕方等)。
- ▶ スタッフが医療安全に前向きに関われる実際の方法等を紹介してほしい。(インシデント報告書を書きたがらない人が多いと感じているため)
- ▶ 市民立場のお話は大変参考になった。
- ▶ 被害者側が話す時には、同時に対応に当たる医療者側の意見を言う場を作らないと一方的な場になってしまうと思われた。
- ▶ 講演の時間を短縮して欲しい。
- ▶ オンライン研修を希望する。

5

議題等 1 令和 4 年度医療安全研修会について（報告）

アンケート結果 医療安全を推進する上で保健所に期待すること

- ▶ 全国の様々な取り組みの紹介等、色々な媒体で発信してほしい。
- ▶ 医療事故について、注意喚起や再発防止の観点から情報収集をしてもらえると医療安全の推奨につながるのかなと思った。
- ▶ 実際に起こった医療事故等をFAX等で情報共有して頂きたい。
- ▶ 医師以外の医療スタッフが、医療安全について学べる、考えられるような機会があったらうれしい。クリニックではDr,Ns間に比べ他職種は積極的に関わることが少ないため。
- ▶ 医療安全に関する研修会の開催が求められているが、施設の規模によっては専任の医療安全管理者がおらず、兼任しているところも多いと思うので、「船橋市としてこういう研修をしてください」、という見本や資料を作ったらいいと思う。
- ▶ これからも研修会を開催してほしい。
- ▶ 医療安全の大切さを学んだ。回数が増えるとありがたい。

6

議題等 1 令和 4 年度医療安全研修会について（報告）

その他アンケート結果まとめ

- ▶ 参加者の職種は薬剤師が最も多く、次いで医師、看護師が多かった
- ▶ 約 70%がこれまで参加したことがなかった
- ▶ 医療安全支援センターについて、80%が知らなかった
- ▶ 研修会開催日・時間帯について、約半数が「土日の中が良い」とのことだった
- ▶ 講演内容について、93%が「大いに参考になった」「参考になった」とのことだった
- ▶ 医療事故にあった方やそのご家族からの講演について、75%が聴講の経験がなかった
- ▶ 研修会に係る意見として、「真剣に問題に取り組まないとマズイと思う」「医療に携わる者としてもう少し考えて患者と向き合いたい」等、前向きな意見が寄せられた一方で、「マンパワーの問題等もあり電子カルテを研修会で示されたように記録するのは大変」等、現実的な意見もあった

7